

株主通信

第53期 第2四半期のご報告

2016年4月1日～2016年9月30日

サンコーテクノの製品は、
皆様の身近な「安全」を支えています。

NEW



©高森朝雄・ちばてつや / 講談社

施工・撤去・穴補修等が簡単にできる
「あしばジョイントアンカー」

PHILOSOPHY

経営理念

奉仕は、真価の追求なり
啓発は、未来の追求なり
協調は、繁栄の追求なり

社是

創り、活かし、満たす
— 人のお役に立つために、創造提案型企業をめざす —

社訓

感性と実践力を磨き、
健康で豊かな環境づくりに貢献します

心の経営とは

私たちの会社が、最も大切にしていること。

それは「心の経営」です。

心の経営とは、「理想は高く 頭は低く 実践は足下から」を
基本姿勢とし、その実践を「挨拶と清掃」に求めています。

こうした日々の実践を通して

活気あふれる職場づくりを目指しております。



「一般社団法人倫理研究所」の
ライセンス認定企業
プログラム『倫理17000』の
第1号に認定

サンコーテクノグループ

S.T.G VISION 2020

ファスニング

私たちは **独自の締結システムで、**
安全・安心を提供する モノづくり集団を追究します

5つの視点

お客様へ…

お客様の期待を超える価値創造を実践し、
“**SANKO** ブランド=人”を実現します

お取引先様へ…

共育・共創・共生をキーワードに
共鳴し合える関係を構築します

社会へ…

事業を通じて、安心して暮らせる
豊かな環境づくりに貢献します

株主様へ…

持続的な利益創出と株主還元により
企業価値の向上を図ります

社員へ…

自身の成長とチームの達成感（喜び）を共有できる
職場環境を構築します

S.T.G スローガン

グループ一丸となって、
人財・品質・実践力を磨き モノづくり企業を究めます

FLAGSHIP

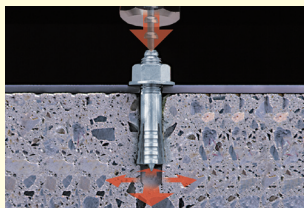
「あと施工アンカー」とは?

木材等に物を固定したり、留め付ける際に釘を使用するように、コンクリート等に物を固定する際には「あと施工アンカー」が使用されています。

サンコーテクノは「あと施工アンカー」で国内シェアトップをいただいております。



釘



「あと施工アンカー」

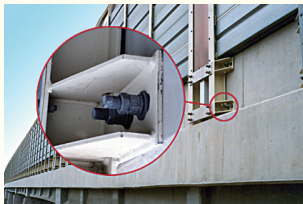
「あと施工アンカー」は、街の安全と安心をサポートしております



自動販売機の固定に



ベンチの取付けに



高速道路の防音壁の取付けに



太陽光パネルの架台取付けに

ご挨拶

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、当社の2017年3月期第2四半期(2016年4月1日～2016年9月30日)の業績と今後の取組みについてご説明する株主通信をお届けいたします。本誌を通じて、当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。



代表取締役社長

洞下英人

中長期視点からの市場創出戦略を 着実に進めております。

2017年3月期第2四半期連結業績と通期業績・配当見通し

当社グループの2017年3月期第2四半期は、海外販売や機能材事業のアルコール測定器等は比較的堅調に推移したものの、主力のファスニング事業においては国内の太陽光関連市場が縮小したほか、建設現場での人手不足による工期の遅れや建設着工量の減少により低調に推移いたしました。この結果、売上高は前年同四半期比8.3%減の7,268百万円、営業利益は同21.0%減の426百万円となりました。また、2017年3月期通期の業績につきましても、当初の予想を下回る見通しとなったことから、売上高は前連結会計年度比2.7%減の16,200百万円、営業利益は同3.6%減の1,290百万円と業績予想を修正いたしました。

このように足元の業績は調整局面に入っており

ますが、2017年3月期の期末配当の見通しにつきましては、株主の皆様から当社グループへの長期的な成長期待にお応えするべく、安定的な増配を継続させていただく予定です。株主の皆様におかれましては、今しばらくのご辛抱と、変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



今後の事業環境について

足元における事業環境につきましては、国内建設市場の停滞感が継続し、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた動きが本格化する時期も、不透明な状態が続くと見込まれます。しかし中長期的には、高度経済成長期に整備された各種インフラや建造物等が敷設後50年超となり、維持管理や更新の需要が拡大し始めてい

ることから、「あと施工アンカー」の需要も漸進的に増加していくものと見込んでおります。当社グループはこれらのビジネスチャンスを確実に捉え、中期経営計画の最重点施策として目下注力している土木分野での開発力と営業力強化の成果を最大限に発揮することで、業績の回復と中長期的な安定成長に弾みをつけていく構えです。

具体的施策

国内の営業力の強化においては、「安全性能の高さ」「効率的な施工」といった当社製品の優位性をユーザーに改めて訴求し、競合他社の低価格品に対する当社製品の市場ポジショニングを確固たるものにしてまいります。具体的には、全国約4,000社の取扱店と15拠点の支店・営業所

によってどの施工現場にも滞りなく製品を供給できる体制を今後とも堅持する一方、当社営業部隊から施工現場への製品情報の提供やPRを強化することで、当社とユーザーの直接的な対話を増やしてまいります。これにより、当社の強みの1つである全国販売拠点網とサポート体制

●インフラ土木分野での高付加価値製品・新工法開発



メタルロックアンカー

3つのラインによる目視確認で、安定した施工品質を確保



メタルセーフアンカー

ゆるみ止め機能付きナットを付属。優れたゆるみ止め性能を発揮



テクノテスター

あと施工アンカーの強度を現場で確認できる試験機

をさらに進化させ、当社製品ならではの付加価値を市場により深く浸透させると同時に、現場における最前線のニーズを吸収し、新たな製品開発と市場の創造を加速してまいります。

海外事業においても、営業力を強化してまいります。当第2四半期の海外事業はアメリカ・欧州を中心に順調に推移したものの、東南アジアでは、一部地域の政情不安の影響等もあり弱含む結果となりました。当期より当社ファスニング営業本部内に新設した海外推進担当部署では、グループ会社であるベトナム・タイの営業部隊に対し、中心

顧客である日系企業の現地動向などの情報提供を拡充しております。

これにより、今後のインフラ整備等を背景に「あと施工アンカー」需要の中長期的な拡大が期待できる東南アジア市場での成長を加速し、当社グループの目標である海外売上高10億円の早期達成を目指します。

このように営業力の強化を国内外で着実に進める一方、製造設備の刷新や各種業務体制の改革も進めております。量産拠点であるタイ工場では、昨年立ち上げた一貫生産システムが安定稼働に入り、効率化とコストダウンに寄与し始めているほか、国内では、「あと施工アンカー」の中でも長大な製品を必要とする土木分野向け製品の拡充に向けて、新たな設備投資や工法開発等を進めております。

また、「創造的破壊」をキーワードとした「5S」（整理、整頓、清掃、清潔、躰）への取り組みは、営業部門や製造部門だけでなく、間接部門も含むサンコーテクノグループ全体で日々の業務改善活動を推進しており、少しずつ成果に結びついております。

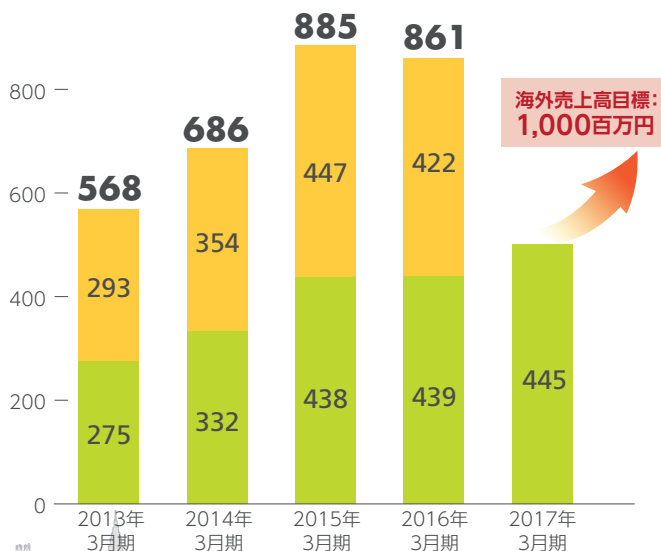
当社グループの業績は調整局面が続いておりますが、このような時こそ改革を進める絶好のチャンスであると捉え、私自身が各事業拠点で5S活動の本質を説いて回るなど、改善活動を主導して進めており、スタート後約半年が経過しましたが、明確な手ごたえを感じております。

当社グループは今後も、東京オリンピックが開催される2020年までの売上高成長率5.0%以上（年平均）という目標を堅持してまいります。上述した一連の取り組みが、来たる成長局面において大きく寄与してくれることを確信しております。

●海外売上高の推移

■ … 上半期 ■ … 下半期

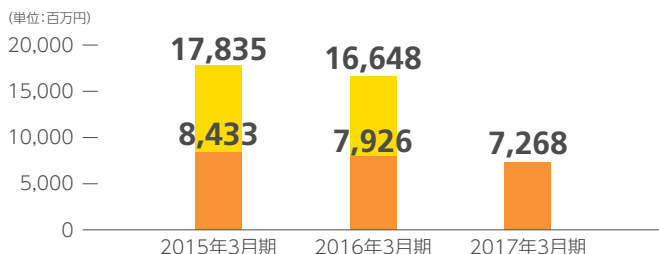
(単位:百万円)
1,000 —



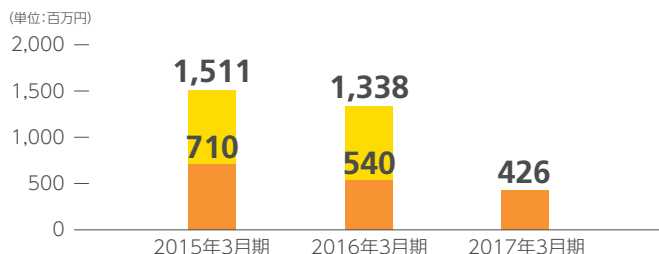
HIGHLIGHTS 連結財務ハイライト

当第2四半期は、中期経営計画2年目の重点施策として事業ポートフォリオの転換を進めた一方、当社グループが関連する建設市場においては、市場成長に停滞感があるなど、厳しい経営環境が継続いたしました。この結果、売上高は7,268百万円（前年同四半期比8.3%減）、営業利益426百万円（同21.0%減）、経常利益401百万円（同21.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は252百万円（同23.1%減）となりました。

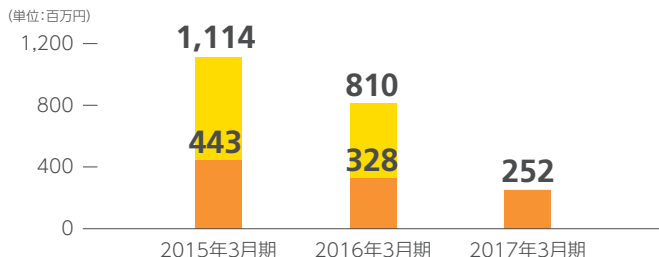
売上高



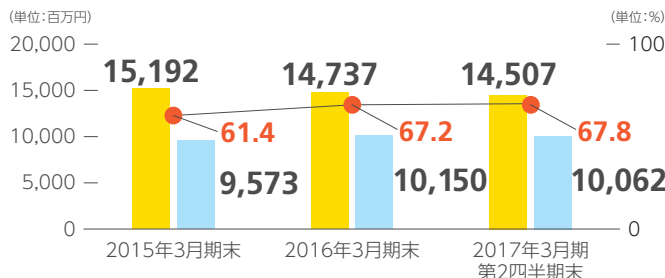
営業利益



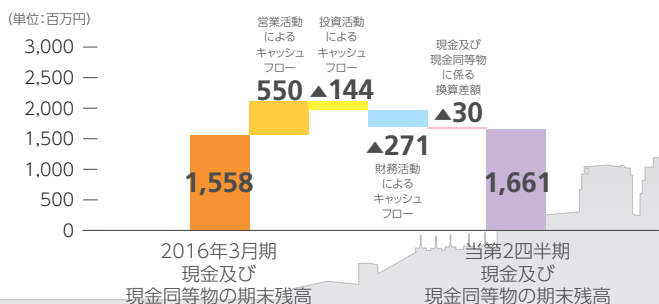
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



総資産・純資産・自己資本比率



連結キャッシュフロー計算書の概要



2017年3月期通期業績予想

売上高	16,200百万円
営業利益	1,290百万円
経常利益	1,240百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	830百万円

OVERVIEW セグメント別概況

ファスニング事業

各種設備工事等の需要回復に伴い、当社主力製品である金属系あと施工アンカーの販売は堅調に推移いたしました。一方、公共工事等の需要が減少したことで、接着系あと施工アンカーの販売が低調に推移いたしました。この結果、当セグメントの売上高は5,470百万円(前年同四半期比7.1%減)、セグメント利益は642百万円(同14.8%減)となりました。

●アンカー関連

- 金属系アンカー
- 接着系アンカー
- その他のアンカー類

●ドリル・電動工具関連

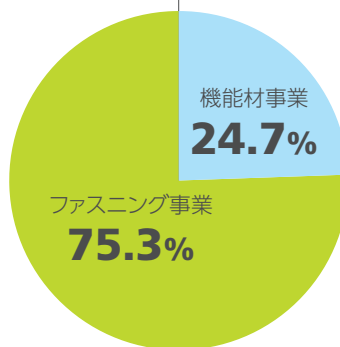
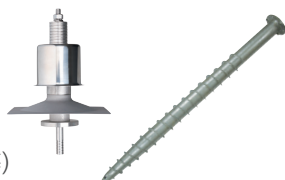
- 大口径・小口径ドリル
- アンカー施工工具
- 確認試験機

●ファスナー関連

- サイディング用ファスナー
- ルーフィング用ファスナー

●工事関連

- 太陽光関連
- 建築関連(耐震補強工事)
- 土木関連(一面耐震補強工事等)



機能材事業

アルコール測定器の販売は好調に推移いたしました。一方、電動油圧工具関連は、国内販売が低調に推移したほか、FRPシート関連に含まれる二重床等の複合材料の販売や、電子基板関連の販売が減少いたしました。この結果、当セグメントの売上高は1,798百万円(前年同四半期比11.9%減)、セグメント利益は225百万円(同12.7%減)となりました。

●FRPシート関連



●各種測定器、電子プリント基板関連



●電動油圧工具関連

- 鉄筋カッター
- 鉄筋ベンダー等



アジア最大級の物流・ロジスティクスの総合展 「国際物流総合展2016」に出展



通信機器メーカーと共同出展。
アルコール測定器「ST-3000」、
紫外線硬化FRPシート「e-シート
クイック」を中心に訴求(2016
年9月、東京ビッグサイト)

新製品リリース

あしばジョイントアンカー

主に、建設構造物の外壁工事の際に使用する仮設足場を
コンクリート壁に固定するための専用アンカー



2016年
6月発売

©高森朝雄・ちばてつや / 講談社

リニューアル

ホームページの製品技術資料を リニューアル

ホームページの「製品情報」コーナーに開示している当社取扱製品の
技術資料(製品仕様書、材料規格書、試験成績書、CADデータ、JCAA
製品認証書)の一部をリニューアル

【リニューアル特長】

- ①製品仕様図(組立図)を新たに追加
- ②同品番であれば必要な製品データをまとめてダウンロード可能
- ③官公庁への提出資料としてそのまま活用できる

※技術資料の閲覧およびダウンロードは、会員様向けとなっております(登録無料)。



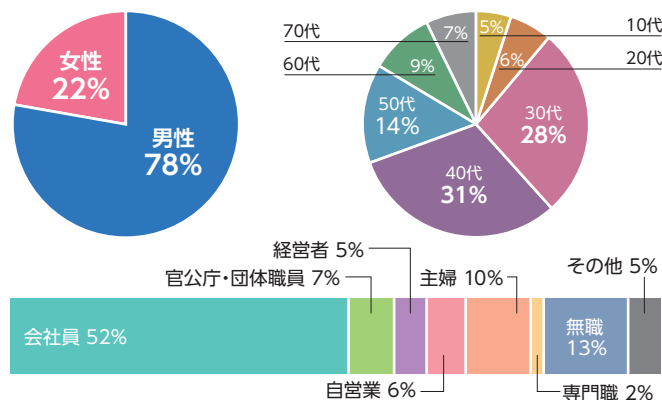
QUESTIONNAIRE RESULTS

株主様アンケート結果のご報告

本誌「株主通信」第52期事業のご報告において実施させていただきました「株主様アンケート」では、皆様からのご回答ならびに貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

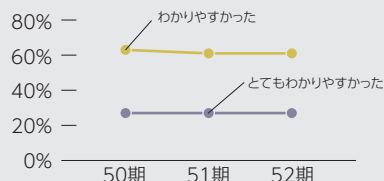
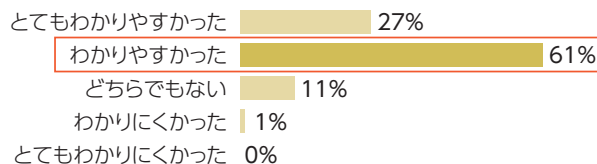
以下に、アンケート結果の一部をご報告いたします。

ご回答者様の属性等



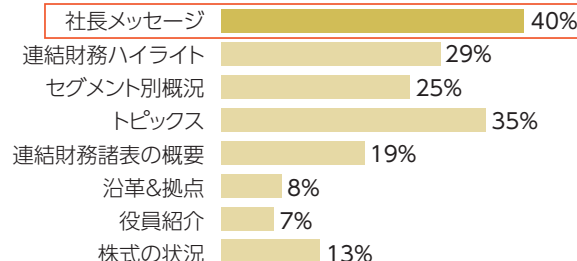
アンケート回答結果

Q1 今回の株主通信のご感想はいかがですか？

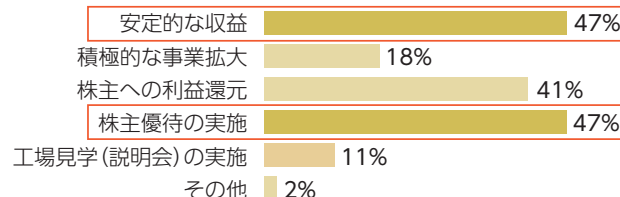


「とてもわかりやすかった」と「わかりやすかった」の合計は横ばいにつき、今後は明確な上昇を目指し鋭意制作してまいります。

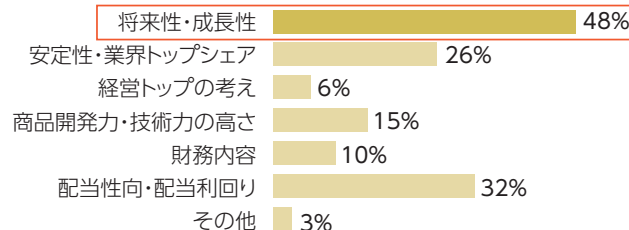
Q2 特に興味を持ったページはどこですか？ (複数回答可)



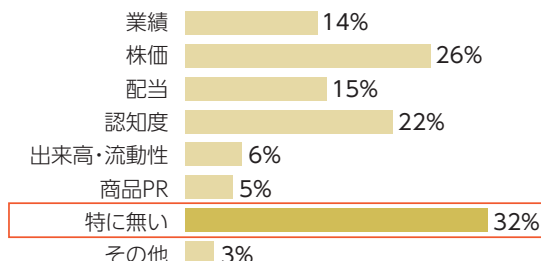
Q3 今後、当社に何を期待しますか？ (複数回答可)



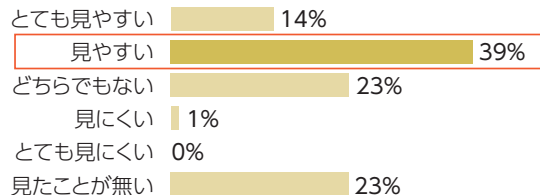
Q4 当社株式の購入理由は何ですか？ (複数回答可)



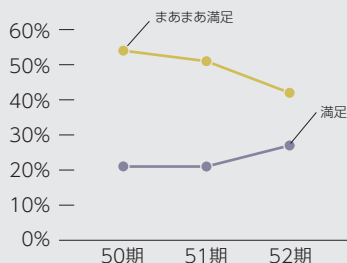
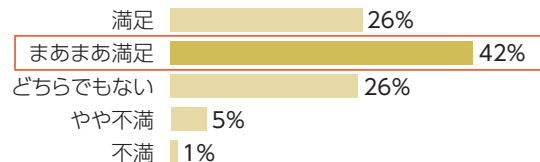
Q5 当社に対する不満はありますか？ (複数回答可)



Q6 当社ホームページ、IRサイトについて ご感想はいかがですか？



Q7 当社のIR活動についての評価を教えてください



過去3期間におけるアンケート調査結果をみると、「満足」と「まあまあ満足」の合計はほぼ水準で推移しております。引き続き皆様にご満足いただけるよう、IR活動の更なる向上を図ってまいります。

役員 (2016年9月30日現在)

代表取締役社長	洞下 英人
取締役副社長	佐藤 静男
常務取締役	洞下 正人
常務取締役	八谷 剛
常務取締役	上石 茂行
社外取締役	佐藤 靖
取締役(常勤監査等委員)	鈴木 英雄
社外取締役(常勤監査等委員)	松岡 省一
社外取締役(監査等委員)	塙 善光

株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	34,000,000株	株主総数	2,976名
発行済株式の総数	8,745,408株	単元株主数	1,756名

大株主 (2016年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
洞下 英人	1,153	13.19
東京中小企業投資育成株式会社	720	8.23
有限会社サンワールド	680	7.77
サンコーテクノ社員持株会	389	4.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	323	3.69
新井 栄	262	2.99
洞下 照夫	215	2.45
株式会社みずほ銀行	178	2.03
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	169	1.93
佐藤 静男	163	1.87

(注) 1.千株未満は切り捨てて表示しております。 2.当社は自己株式(606千株)を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

IR情報はこちらをご覧ください

サンコーテクノ Q 検索 ⇒ トップ画面 ⇒ IR情報



INFORMATION



株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部
証券コード	3435
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3ヵ月以内
基準日	3月31日
配当基準日	3月31日、9月30日(中間配当を行う場合)
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
公告の方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.sanko-techno.co.jp/)に掲載 いたします。ただし、事故、その他やむを得ない 事由によって電子公告をする事ができない場合 は、日本経済新聞に掲載いたします。

会社概要 (2016年9月30日現在)

商号	サンコーテクノ株式会社
設立	1964年5月15日
資本金	768百万円
社員数	314名(連結567名)
所在地	千葉県流山市南流山三丁目10番地16 TEL 04-7157-3535 FAX 04-7178-6661
取引銀行	みずほ銀行 りそな銀行 千葉銀行 三井住友銀行 京葉銀行
事業内容	建設資材(あと施工アンカー・ドリル・ファスナー等)、複合 材、各種測定器の企画開発・製造・販売・施工及び輸出入
連結子会社	株式会社IKK SANKO FASTEM (THAILAND) LTD. SANKO FASTEM (VIETNAM) LTD. 三幸商事顧問股份有限公司 株式会社スイコー アイエスエム・インタナショナル株式会社
持分法適用 関連会社	株式会社サンオー
持分法非適用 関連会社	株式会社イーオプティマイズ

証券代行お問合せ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続きお取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券: 本店、全国各支店および営業所プラネットブース (みずほ銀行内の店舗)でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行: 本店および全国各支店 ※トラストラウングではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります) ※トラストラウングではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」 の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続き お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。